

気候ネットワーク東京事務所御中

2010年7月28日

日立アプライアンス株式会社  
取締役社長 石津 尚澄



ご回答

謹啓 盛夏の候、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般弊社親会社であります株式会社日立製作所 執行役社長 中西宏明宛に書面にて頂戴した「ヒートポンプの性能測定方法に関する公開質問状」につきまして、当該機器の製造・販売を行っております弊社より、別紙の通り回答申し上げますので、よろしくご査収ください。

謹白

(別紙)

- Q 1 : 御社の製品の場合、爆風モードによる性能測定によるエアコンの販売を行っていたことがありますか。あるとすれば、その時期はいつからいつまででしょうか。
- Q 2 : 毎年の製品ごとに、爆風モードを起動するためのスイッチ操作方法を明らかにしてください(自動起動の場合は明記)。また、各機器の国内販売台数(実績)の概数も明記してください。
- Q 3 : 上記の測定方法やその表示は、法令や消費者への情報提供の観点から、適正なものと考えていますか。また、いわゆる爆風モードを搭載していると知りながら、これらの機器を製造・販売していたのであれば、御社としてどのような経営責任をとられるつもりか記載してください。

<弊社の回答>

Q 1 乃至 Q 3 につきまして、まとめて回答いたします。

エアコンの性能表示は日本工業規格(J I S 規格)に基づき、厳格な試験をしてその性能を確認しております。J I S 規格では、室内外の温度・湿度条件を一定にした上で性能を測定するよう定められておりますが、さらにインバーターエアコンでは運転状態が変動するため、エアコンを一定の測定のための運転状態にして測定しています。

これはJ I S 規格に則ったものでありますが、お客様においては様々な使用形態があるため、J I S 規格による測定状態は必ずしも実使用状態と一致するとは限りません。こうしたことから、消費者の誤解を招きかねない点があったことを真摯に受け止め、弊社といたしましては、業界の規格・基準の整備に協力し、今後とも消費者に誤解を与えない分かりやすい表示をするよう努めて参ります。

- Q 4 : 上記の問題に加えて、エアコンの使用時間についても過大に見積もられ、実体とはかい離した表記がなされていると伝えられています。エアコンの性能測定方法や店頭表示法に関しては、通常作動や時間に即した表示とすべきと思いますが、御社としての今後改善策や基本方針を明らかにしてください。

<弊社の回答>

J I S 規格には期間エネルギー消費効率(A P F)を算出する方法が定義されています。A P F という指標は、従来の成績係数(C O P)より一層使用実態に近づけるために導入されました。このA P F の算出用の冷暖房使用時間は、1日18時間(冷暖房期間中)と規定されています。

しかしながら、お客様においては様々な使用形態があるため、弊社といたしましては、経済産業省のご指導を得ながら、業界で進める、よりの確な新たな表示方法の検討に参加して参ります。

- Q 5 : エアコンに冷媒としてフロンを使用している場合、カタログにフロンの種類、封入量、地球温暖化効果を表示すべきと考えますが、御社の製品カタログでは表示されていますか?また、冷媒フロンの対応について自然冷媒への転換や今後の表示等についてのお考えをお聞かせください。

<弊社の回答>

使用している冷媒の種類はカタログに記載し、冷媒の封入量及びその二酸化炭素換算量は本体に表示しております。弊社といたしましては、今後とも消費者に分かりやすい表示に努めて参ります。

また、自然冷媒への転換等については、今後の重要な課題であると認識しております。

**Q 6 : 御社ではエコキュートを年間何台程度、製造販売しているのか具体的にお書きください。また御社のエコキュートは、性能表示と実性能が上記のように違いがあるのでしょうか。**

＜弊社の回答＞

製造販売台数等に関する情報は公表いたしておりません。

弊社におきましては、(社)日本冷凍空調工業会の規格に則って、適正な表示に努めております。

**Q 7 : エコキュートの効率について、適正な測定規格・表示を導入する方向に進む責務について、貴殿はどのようにお考えですか。**

＜弊社の回答＞

弊社におきましては、今後とも(社)日本冷凍空調工業会の規格に則って、適正な測定及び表示に努めて参ります。また、同工業会を中心に J I S 規格を制定する方向で取り組んでおります。

**Q 8 : 実態を欠く、虚構のヒートポンプを推進した弁償として、市場に出回った冷媒フロン、いわゆるフロンバンクの回収対策についてどのように考えますか（自己資金によるフロンの買い取りなど）、御社の方針をお聞かせください。**

＜弊社の回答＞

弊社では、ご指摘のような製品を販売いたしておりません。

**Q 9 : 表示性能に満たない製品を購入した消費者に対して、どのように弁償するのか（金銭賠償や、表示どおりの性能が発揮される製品への取り替えなど）、方針をお聞かせください。**

＜弊社の回答＞

性能表示については、各関係規格・基準に則って適切に行うよう努めております。

**Q 10 : (財)ヒートポンプ・蓄熱センターが6月8日、ヒートポンプの高性能化、普及拡大で大きな経済効果とCO2の大幅削減が期待できるとの報告書を発表しました。**

報告書では、冷暖房や給湯がすべてヒートポンプに変われば1億4000万トンの削減可能性があるとしています。こうした削減PRに対してどのようにお考えですか。また、御社としてどのように関与する予定でしょうか。

＜弊社の回答＞

引き続き関係各所と議論させていただき、良い方向に進んで行ければと考えております。

以上